

## 分科会④

# 行政への情報蓄積に向けた社会教育施設の活かし方

<進行役>

大阪市立環境科学研究センター

秋田耕佑

## <本日の議題> (前半25分)

1. 行政に情報を蓄積することの意義 (3分)
2. 情報を蓄積・共有する上での問題点 (10分)
3. 情報を蓄積するためにできること (10分)

## <本日の議題> (前半25分)

1. 行政に情報を蓄積することの意義 (3分)
2. 情報を蓄積・共有する上での問題点 (10分)
3. 情報を蓄積するためにできること (10分)

# 1. 行政に情報を蓄積することの意義

## 「情報」・・・ 動植物等の生息情報

例)

- 調査, 観察会等で確認された動植物等の記録
- 日常生活の中で観察された動植物等の記録
- 過去の文献や, 知人から知り得た動植物等の記録

# 1. 行政に情報を蓄積することの意義

なぜ、情報を蓄積する必要があるのか？



集積した情報は、  
絶滅危惧種の保全や外来種対策の基盤となる

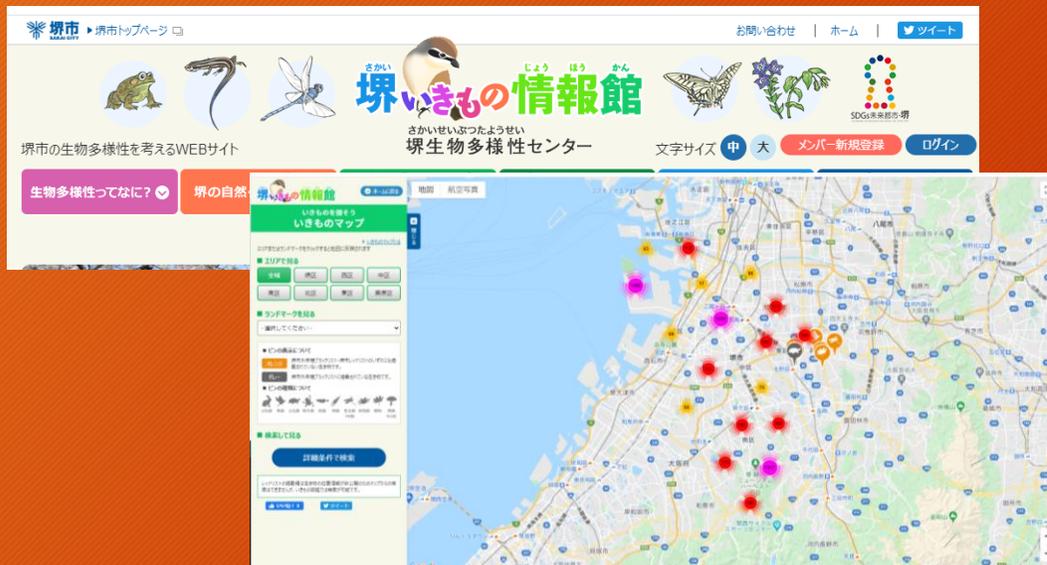
# 1. 行政に情報を蓄積することの意義

## なぜ、情報を蓄積する必要があるのか？

＜堺市での取り組み事例＞

「堺いきもの情報館」  
(情報の蓄積)

堺市レッドリスト、外来種リストの更新  
(行政施策への反映)



## <本日の議題> (前半25分)

1. 行政に情報を蓄積することの意義 (3分)
2. **情報を蓄積・共有する上での問題点** (10分)
3. 情報を蓄積するためにできること (10分)

## <本日の議題> (前半25分)

1. 行政に情報を蓄積することの意義 (3分)
2. 情報を蓄積・共有する上での問題点 (10分)
3. 情報を蓄積するためにできること (10分)

## <本日の議題> (後半25分)

4. 2022年度に取り組むべき行動(15分)
5. 4. の具体的な役割(10分)

## <本日の議題> (後半25分)

4. 2022年度に取り組むべき行動(15分)

5. 4. の具体的な役割(10分)

## <本日の議題> (後半25分)

4. 2022年度に取り組むべき行動(15分)

**5. 4. の具体的な役割(10分)**